

●書評

BR

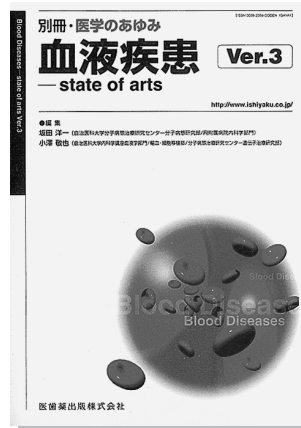
B O O K R E V I E W

『別冊・医学のあゆみ 血液疾患
—state of arts Ver. 3』

(坂田洋一・小澤敬也編)

●B5判, 816頁 ●定価 15,750円

●医歯薬出版



坂田洋一, 小澤敬也両教授(自治医科大学)の編集による『別冊・医学のあゆみ 血液疾患 —state of arts Ver. 3』が本年(2005)9月に刊行された。『血液疾患 —state of arts』改訂第2版が刊行されたのが1998年であったから第2版が出てからすでに7年が経ち, この間血液学の広い分野で大きな進歩がみられたことは周知のとおりである。また, 本書の序文で紹介されているように, 第3版の編者に予定されていた平井久丸教授(東京大学)の急逝という不幸な出来事があった。今回刊行された第3版は最近の血液学の進歩をそのまま示した内容のものとなっており, その総頁数も816頁に及ぶ膨大なものとなっている。執筆者の数も私が数えたところ, 230名に達していた。したがって, 本書は正しくわが国の血液学の代表選手による血液疾患のstate of artsの紹介といえることができるであろう。

本書の内容は, 第1章 病態生理, 第2章 診断,

第3章 治療, 第4章 主要疾患に分かれているが, そのすべてにサブタイトルとして“最近の進歩”がついているように, その内容は血液学の基礎から臨床に及ぶすべての分野の最新の知見をカバーしており, 本書に目を通すことによって血液学の全貌を知ることができる。また, 本書の日本語, 英語の索引はその内容がきわめて充実したものになっており, 本書を手許におくことによって随時必要な血液学の知識を取得することができるであろう。また, 各項目ごとにKey pointが指摘されており, さらに随時サイドメモも挿入されている。これらの工夫は読者の理解を深めるのにきわめて有用であると考えられる。

本書には最新の血液学のすべてが述べられており, きわめて有用な血液疾患のreference bookとして臨床のすべての現場で参照されるべきであると考えられる。

(自治医科大学学長, 高久史麿/たかくふみまる)